

# 奈良スポーツ

NARA SPORTS

12月8日、ロフトフィールド奈良を主会場に開催する「奈良マラソン」(同実行委員会主催、奈良マラソン)は今年、15回目の節目を迎える。2010年、平成遷都1300年を記念して産声を上げ、全国から健脚が集うそのイベントも「奈良マラソン」(5月、10月ほか)は奈良新聞社主催で1981年に始まった。

筆者は学生時代、走者を撮影するアルバイトをしたことがある。当時はカメラにフィルムを装着(そつてん)し、撮影する時代。振り切る大急ぎでフィルムを交換し撮影を再開。その間にランナーが通り過ぎ、撮り逃すことも。枚数を気にせず撮影できるデジタルカメラが主流の今では、信じ難い話だ。

## スポーツウォッチング

### 「奈良マラソン2024」参加者 県民粋きょうから募集開始

風光明媚(めいび)な奈良公園を走る同マラソンが30回大会を機にフルマラソンに加え、奈良マラソンとして表裏を新たにした。さて、本題に。15回大会の県民居住者を対象にした参加者(県民粋)募集は、一般枠に先立ち、きょう12日午後8時からインターネット上で開始。県民粋はマラソン種目(42・12.5キロ)に限られ、先着3000人(5月29日付)に達する。毎年数々のドラマがあるフルマラソン。昨年、男子は前半オーバペースになるように体力を温存し、41キロ地点で一気にトップに立った選手が2回目の挑戦で初優勝。「沿道の応援が力になった」と振り返った。今年新たに2人の走者が前半と後半をタスキでつなぐハイレートマラソンも、奮闘を期待する。(社)



## 気迫あふれる演武披露

### 郡山東中で「琉球舞踊」との関係性も紹介

琉球舞踊と空手の関係性について、栗井副理事長は、「二才踊り」という古典舞踊は空手の技法を取り入れながら、活発さと力強さを強調している。戦後の創作舞踊「護身の舞」は空手の動きを随所に取り入れた舞いなど、説明空手道の基礎知識とともに琉球舞踊の中に隠れている空手の技法に触れた。

さらに同連盟の相原智之常任理事が監督を務める大阪産業大学空手道部の学生とともに、気迫あふれる形演武や自由組手を披露したほか、関西沖縄舞踊研究所の仲村絃代代表が琉球舞踊を紹介した。

14日も実施する予定で、生徒らが空手の基本技を使った演舞などに挑戦する。栗井副理事長は「琉球舞踊と空手道の歴史や技術を学ぶ中で、現在150万人以上の空手愛好者がいるといわれる空手道の魅力を知ってもらいたい」と意気込む。

# 空手道の魅力知って

「武道」としての伝統と「スポーツ」の魅力が融合する空手道。2031年に県で開催される国民スポーツ大会に向け、県空手道連盟(水清清昭理事長)はより一層の普及・発展に努めている。その一環として3日、大和郡山市立郡山東中学の1、2年を対象にした総合的な学習の時間で、「沖縄(琉球)伝統舞踊と空手道」と題して、栗井健一・同連盟副理事長らが講義。模範演武なども披露した。(社)

空手発祥の地は、かつて琉球と呼ばれた沖縄。栗井副理事長は「14世紀後半に伝来した中国拳法の影響を受け、現在の形に発展したと考えられる」と解説。突き、蹴り、受け、転身、投げ、固め、極めなどの技を活用した武道で、琉球の地で研ぎ込まれ、現在では国内はもとより世界中に広まっ



### みんなで一丸となって頑張れた

レギュラーの部の決勝戦で互いに譲らぬ攻防を制し優勝した、あすか野ファイターズ。先制されても追い付き、さらに突き放されても食らいついて逆転し、1点のリードを守り切った。松川泰千主将(真弓小6年)は「みんなで一丸となって頑張れた。リードされている場面でも、自分たちなら行けると信じて戦った。次は夏の県大会予選も勝って、他の市の知らないチームと戦いたい」と抱負。逆転3ランを放った太田敦大(同)は「真意に当たって、打った瞬間に行きたくて、顔から腰、膝までのラインがまったくぶれずにきれいに回っている実感もあった。普段は足でかき回すタイプだが、あの場面では監督から『任せろ』と言われたので、ライナー性の打球を狙っていた」と試合を決めた一打を振り返った。



【レギュラー決勝・あすか野ファイターズ-生駒クラブライオンズ】4回、逆転3ランを放ちホームインする、あすか野・太田=生駒市北大和野球場



【レギュラー決勝・あすか野ファイターズ-生駒クラブライオンズ】生駒クラブライオンズは4回、けん制球が逸れた際に北野が本塁に駆け込みリードを広げる=同

### レギュラーの部

# あすか野ファイターズV

## ジュニアの部も制す

### 上武建設グループ杯 野球大会

第5回上武建設グループ杯野球大会(生駒市軟式野球連盟主催)が5月26日、6月

2日、生駒市北大和野球場で開かれた。レギュラー(小学6年)とジュニア(小学5年)以下の2部門で争われ、両部門であすか野ファイターズがトーナメントの頂点に立った。

レギュラーの部は7チームが出場。決勝戦はあすか野ファイターズが生駒クラブライオンズを6-5で競り勝った。

レギュラー	ジュニア
あすか野 6-5 生駒クラブライオンズ	あすか野 2-1 生駒クラブライオンズ
あすか野 7-6 生駒クラブライオンズ	あすか野 11-0 生駒クラブライオンズ
あすか野 6-0 生駒クラブライオンズ	あすか野 3-2 生駒クラブライオンズ
あすか野 6-5 生駒クラブライオンズ	あすか野 3-2 生駒クラブライオンズ



レギュラーの部で優勝したあすか野ファイターズ=同